

平成 25 年 4 月 25 日  
筑 波 大 学

## グローバル・コモンズ機構の設置について

筑波大学では、グローバル人材の育成を目的として、平成 25 年 4 月 1 日にグローバル・コモンズ機構を設置しました。グローバル・コモンズ機構では、グローバル人材に必要とされる能力及び素養を身に着けさせる TSUKUBA Study Abroad プログラムの実践を支援します。本プログラムは、日本人学生と留学生が和やかに協働する『国際性が日常化したキャンパス環境』、及び外国語力とコミュニケーション力をはぐくむ『世界を学びの場とするキャンパス環境』を体現する学修の場としてのコモンズによって支えられます。

### 【グローバル・コモンズ機構設置の目的:グローバル人材育成のために】

筑波大学は、『地球規模課題の解決や人類のグローバルな活動を牽引できる人材』の育成を目指します。筑波大学が育成するグローバル人材に修得させようとしている素養・能力は、豊かな外国語力・コミュニケーション力、その分野の深い基礎力・専門力、日本人としての確固たるアイデンティティーや多様性(ダイバーシティ)を理解し活かす柔軟性です。これは、近代柔道の創始者で本学前身の東京高等師範学校長であった嘉納治五郎の提唱した「自他共栄」と「精力善用」の精神のもとに、柔軟な智慧と科学的思考に裏付けられた自己の意見を主張しながらも、組織や社会の多様性を積極的に活用し、文化・個性・専門など様々な背景を持った個々の力を最大限に結集し、成熟社会の閉塞感を克服する知の創造と未来への改革に貢献できる人材です。

このような素養・能力を持つグローバル人材を育成する仕組みとして、グローバル・コモンズ機構を設置しました。グローバル・コモンズ機構では、『国際性が日常化したキャンパス』と『世界を学びの場とするキャンパス』環境の実現に努めます。

### 【機構の仕組み:「国際性の日常化」及び「世界を学びの場に」の実現のために】

『国際性が日常化したキャンパス』環境を構築するために、様々な国の留学生、専門分野の異なる学生と日常的に接し協働する学修スペースを、「スチューデント・コモンズ」として戦略的にキャンパスに配置します。さらに教職員の国際化に対応する「ファカルティー・コモンズ」「アドミニストレータ・コモンズ」、統括組織となる「コモンズ・ジェネラル」を併設することにより、本学のモットーである「国際性の日常化」を体現するキャンパス環境を構築していきます。

『世界を学びの場とするキャンパス』環境は、グローバル科目群と海外留学科目群から成る TSUKUBA Study Abroad プログラムを実施することによって実現します。グローバル科目群では、実践的コミュニケーション能力、異文化・異分野に対する理解力・活用力など、グローバル人材の基盤となる素養を身につけさせる教養教育(グローバル・リベラルアーツ)を展開します。とりわけ本学の国際的に開かれた大学として

の特性を活かして、実践的な英語教育の実践的空間を実現します。さらに、教養教育に連携し、現代社会が直面する課題に対応した**課題解決型の専門教育**を実施し、専門力、学際的思考とリーダーシップを発揮し、地球規模課題に対応できるグローバル人材を育成します。また、海外経験が今日の人材育成の不可欠の構成要素という理解の下に、質の保証に基づく厳選された海外留学・海外インターンシップを4年間の学修計画に組み込んだ海外留学科目群を実施します。

所定の単位を優秀な成績で履修し、かつ一定の英語力を有し海外留学を経験した学生を、グローバル人材として認定することを検討します。将来的には、学部学生の 1/3 がグローバル人材となることを目指します。

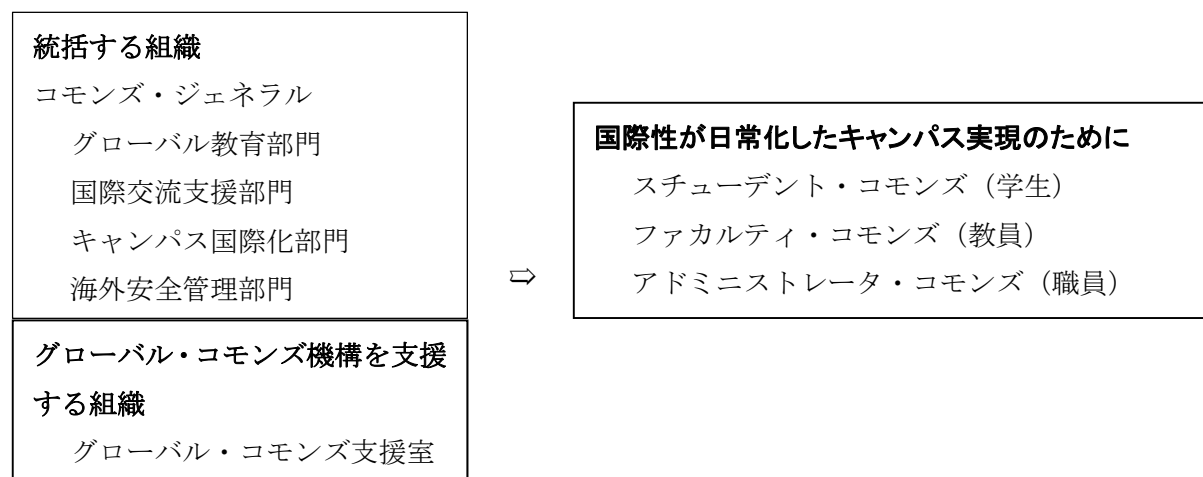
### 【グローバル・コモンズ機構設置の経緯】

本学は、「国内的にも国際的にも開かれた大学であることを基本的性格」とし「変動する現代社会に不断に対応しつつ、多様性と柔軟性を持った新しい教育・研究の機能及び運営の組織を開発する」ことを、建学の理念としています。この理念に基づき、第二期中期目標・中期計画として、「知の全ての分野において幅広い教育研究活動を展開することが可能な総合大学として、個性と自立を基軸とし、世界が直面する問題の解決に主体的に貢献する人材の創出を目指した教育研究を充実・強化」することを掲げています。

世の中のグローバル化が急速に進展する中で、グローバル化の「先端校」「先進校」としてグローバル化に先導的な役割を果たしていくことが、本学に課せられた責務と考えています。このような観点から、文部科学省が平成 21 年度に公募し本学が採択された「国際化拠点整備事業(グローバル 30)」における海外からの留学生の受け入れをさらに促進するとともに、平成 24 年度に採択された「グローバル人材育成推進事業(特色型)」を推進するために、グローバル・コモンズ機構を設置したものです。

### 【グローバル・コモンズ機構の組織】

グローバル・コモンズ機構の組織は、次のとおりです。



### 【コモンズ・ジェネラルの業務】

コモンズ・ジェネラルでは、全学レベルでの支援体制の最適化を図り、グローバル人材育成の実現を加速させていきます。

「グローバル教育部門」 グローバル人材が身に付けるべき能力・素養を学修する「グローバル科目群」の策定・開設を支援します。また、国際通用力のある教学システムへの改革を支援します。

「国際交流支援部門」 国際交流協定校との協働プログラムを活性化し、日本人学生の海外留学支援、海外からの留学生受け入れを支援します。

「キャンパス国際化部門」 学生・教員・職員のキャンパスにおける国際性の日常化を実践するコモンズを運営します。また、受け入れ留学生の生活環境支援を行います。

「情報・海外安全管理部門」 学生が関心を抱いている国・地域や課題・分野は、必ずしも安全とは限りません。海外渡航者の安全管理の充実を目指し、協定校及び卒業留学生ネットワークを構築し、海外拠点事務所と連携して海外情報の収集を行い、海外リスク教育の実践を支援します。

### 【当面の取組み予定】

- ・ グローバル・コモンズ機構業務のスタートアップ
- ・ スチューデント・コモンズの整備：筑波大学開学 40+101 周年記念事業に向けた準備

### ■ 本件問い合わせ先 ■

グローバル・コモンズ機構長 人文・社会科学系長 教授 坪井美樹 Tel.029-853-4436

コモンズ・ジェネラル長 教授 北脇信彦 Tel. 029-853-7400, 5526

グローバル・コモンズ支援室長 丹藤勝次 Tel. 029-853-7401

〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1

e-mail: [global.common@un.tsukuba.ac.jp](mailto:global.common@un.tsukuba.ac.jp)

URL: <http://g-commons.global.tsukuba.ac.jp/>